



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社  
 コード番号 6737 URL <http://www.eizo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 學 TEL 076-275-4121  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	19,376	15.7	1,897	121.0	2,540	441.8	1,822	513.9
29年3月期第1四半期	16,745	△7.7	858	△9.7	468	△73.7	296	△76.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,966百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △3,197百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	85.49	—
29年3月期第1四半期	13.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	119,354	88,394	74.1	4,145.94
29年3月期	115,160	85,280	74.1	3,999.89

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 88,394百万円 29年3月期 85,280百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	0.9	7,100	0.9	7,500	5.5	5,700	0.7	267.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	22,731,160株	29年3月期	22,731,160株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,410,508株	29年3月期	1,410,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	21,320,672株	29年3月期1Q	21,320,734株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は平成29年8月8日に当社のウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では雇用環境や消費動向は回復基調にあり、景気は緩やかな拡大が続きました。また、米国では雇用環境が底堅く推移し、個人消費を中心に景気は緩やかに拡大しました。日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費は持ち直しつつあり、また、企業収益・設備投資にも改善が見られ、景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループは第五次中期経営計画の最終年度を迎え、商品開発及び企業体質の強化、各市場別の重点施策を進めております。特にヘルスケア市場では、2016年7月に買収したパナソニックヘルスケア㈱の手術室・内視鏡用モニター事業において、両社の技術を融合し、さらに進化した内視鏡用モニターの開発に取り組んでおります。また、新しい分野として、MIL規格に対応したより信頼性の高い映像機器の開発・生産を推進するため、当該規格に対応した試験評価棟を建設し、2017年4月より運用を開始しました。

当社は映像技術を核とし、顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供するなど、「Visual Technology Company」への展開を進めております。また、高品位・高品質な映像ソリューションの提供を行うことで、特に当社が重点市場と位置付けるヘルスケア、クリエイティブワーク、※V&S (Vertical & Specific) を中心に各市場における事業領域の拡大に取り組んでおります。

※8ページ「3. 補足情報」をご覧ください。

このような事業運営の下、当第1四半期連結累計期間より従来の品目別売上から市場別売上に区分を変更しております。従来の「映像表示システム」は、B&P (Business & Plus)、ヘルスケア、クリエイティブワーク及びV&S市場 (Vertical & Specific) の各市場に分けて表示しております。市場区分の詳細につきましては、8ページ「3. 補足情報」をご覧ください。

当第1四半期連結累計期間における全体の売上高は、19,376百万円（前年同期比15.7%増）となりました。市場別の売上は次のとおりであります。

市場	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年6月30日)		増減 金額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
B&P	3,724	22.2	3,545	18.3	△178
ヘルスケア	5,303	31.7	6,427	33.2	1,123
クリエイティブワーク	1,264	7.5	1,353	7.0	88
V&S	1,542	9.2	1,653	8.5	110
アミューズメント (旧:アミューズメント用モニター)	3,923	23.4	5,619	29.0	1,696
その他 (従来から変更なし)	987	6.0	778	4.0	△209
合計	16,745	100.0	19,376	100.0	2,631

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## [B&amp;P (Business &amp; Plus) ]

売上高は、3,545百万円（前年同期比4.8%減）となりました。フレームレスモニターの販売が欧州及び北米において引き続き堅調であったものの、新製品投入効果が高かった前年同期を下回る売上高となりました。

## [ヘルスケア]

売上高は、6,427百万円（前年同期比21.2%増）となりました。2016年8月から買収により事業を開始した手術室及び内視鏡用モニターの販売が加わり、また国内においてインテグレーション事業の販売が好調に推移したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

## [クリエイティブワーク]

売上高は、1,353百万円（前年同期比7.0%増）となりました。海外において販売が伸長しました。特に映像制作分野への販売を強化している北米での販売が伸長したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

## [V&amp;S (Vertical &amp; Specific) ]

売上高は、1,653百万円（前年同期比7.2%増）となりました。国内において販売が伸長したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

## [アミューズメント]

売上高は、5,619百万円（前年同期比43.2%増）となりました。新機種投入時期により売上高が左右される特性があります。前年同期に比べ新機種の販売が増加したことから、売上高は増加しました。

## [その他]

売上高は、778百万円（前年同期比21.2%減）となりました。主に、アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が減少したことによりです。

売上総利益は、ヘルスケア及びアミューズメント市場向けの増収や原価低減に努めたことにより、前年同期に比べ1,334百万円増加し、売上総利益率は2.9ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、内視鏡モニターやMIL規格対応製品の先行的な研究開発等により、前年同期に比べ295百万円増加しました。その結果、営業利益は1,897百万円（前年同期比121.0%増）となりました。また、為替差益の計上等により、経常利益は2,540百万円（同441.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,822百万円（同513.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産及び負債の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は4,194百万円増加し119,354百万円、負債の部は1,080百万円増加し30,960百万円、純資産の部は3,113百万円増加し88,394百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月8日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,294	7,609
受取手形及び売掛金	16,973	15,034
有価証券	18,809	19,313
商品及び製品	10,284	11,828
仕掛品	4,501	4,533
原材料及び貯蔵品	9,629	10,205
その他	2,981	2,512
貸倒引当金	△138	△130
流動資産合計	69,334	70,907
固定資産		
有形固定資産	11,771	11,955
無形固定資産	1,747	1,500
投資その他の資産		
投資有価証券	31,558	34,261
その他	748	729
投資その他の資産合計	32,306	34,991
固定資産合計	45,826	48,447
資産合計	115,160	119,354
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,694	7,874
短期借入金	1,796	1,919
未払法人税等	1,051	566
賞与引当金	1,397	614
ソフトウェア受注損失引当金	4	4
製品保証引当金	1,813	1,909
その他	5,506	6,683
流動負債合計	19,264	19,571
固定負債		
役員退職慰労引当金	101	101
リサイクル費用引当金	898	872
退職給付に係る負債	3,069	3,106
その他	6,545	7,307
固定負債合計	10,614	11,389
負債合計	29,879	30,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,313
利益剰余金	62,953	63,923
自己株式	△2,661	△2,662
株主資本合計	69,031	70,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,038	18,776
為替換算調整勘定	△504	△141
退職給付に係る調整累計額	△284	△242
その他の包括利益累計額合計	16,248	18,392
純資産合計	85,280	88,394
負債純資産合計	115,160	119,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年6月30日)
売上高	16,745	19,376
売上原価	11,781	13,077
売上総利益	4,963	6,298
販売費及び一般管理費	4,105	4,401
営業利益	858	1,897
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	255	265
為替差益	—	281
その他	13	103
営業外収益合計	273	652
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	11	9
為替差損	630	—
その他	19	0
営業外費用合計	663	9
経常利益	468	2,540
税金等調整前四半期純利益	468	2,540
法人税、住民税及び事業税	80	481
法人税等調整額	91	236
法人税等合計	171	717
四半期純利益	296	1,822
親会社株主に帰属する四半期純利益	296	1,822



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	296	1,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,735	1,737
為替換算調整勘定	△829	363
退職給付に係る調整額	71	42
その他の包括利益合計	△3,494	2,144
四半期包括利益	△3,197	3,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,197	3,966
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

## 3. 補足情報

(売上区分の表示についての変更)

当第1四半期連結累計期間より従来の品目別の売上から市場別の売上に区分を変更しており、以下の区分にて集計しております。

区分	主要用途
B&P (Business & Plus) ビジネス用途向け及びゲーム等のエンターテインメント市場向け	金融機関、公共機関、文教施設、一般オフィス
ヘルスケア 医療環境向け	医用画像、診断用途、手術室用
クリエイティブワーク グラフィック用途向け	出版、印刷、写真編集、映像制作
※V&S (Vertical & Specific) 様々な環境下での使用が求められる多様な業種・分野向け	航空管制(Air Traffic Control:ATC)、船舶、監視(Security & Surveillance)、その他産業用途
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発